

川崎市×哺乳器ブランドオーナー 6 社が連携し、リサイクル実証実験を実施！ ～「ピジョン」が新たに「かわさきプラスチック循環プロジェクト」に参画～

川崎市では、プラスチック資源循環に向けて、「かわさきプラスチック循環プロジェクト（愛称：かわプラ）」を設立して様々な事業者と連携して取組を推進しています。

この度、「ピジョン株式会社（本社：東京都中央区）」をはじめとする哺乳器ブランドオーナー 6 社と連携し、市内 7 区の区役所において、家庭で使わなくなった哺乳器を回収し、リサイクルする実証実験を実施します。

哺乳器ブランドオーナー 6 社が、育児用品業界として初めて協働して取り組むことで、哺乳器リサイクルの早期の社会実装を目指します。

1 実証実験の概要

(1) 期 間：令和 6 年 9 月 6 日（金）から令和 7 年 2 月 28 日（金）

(2) 回収場所：市内 7 区役所

	区役所名	所在地
1	川崎区役所	川崎市川崎区東田町 8 パール三井ビル
2	幸区役所	川崎市幸区戸手本町 1-11-1
3	中原区役所	川崎市中原区小杉町 3-245
4	高津区役所	川崎市高津区下作延 2-8-1
5	宮前区役所	川崎市宮前区宮前平 2-20-5
6	多摩区役所	川崎市多摩区登戸 1775-1
7	麻生区役所	川崎市麻生区万福寺 1-5-1



回収ボックスイメージ

(3) 対 象 物：哺乳器（プラスチック製、耐熱ガラス製） ※全メーカー回収可能

(4) 回収方法：家庭で不要になった哺乳器を洗浄乾燥し、区役所に設置の回収ボックスに入れてください。

(5) 想定回収本数：700 本（ピジョン株式会社の想定）

(6) 実証実験の検証・評価

自治体と連携した効率的な回収方法、消費者の協力を得やすい回収フロー、消費者の理解を得るための有効な啓発方法

(7) 実証実験の意義

哺乳器は普通ごみとして回収され焼却されており、リサイクルが進んでいないのが現状です。そのため、ピジョン株式会社では 2022（令和 4）年から、家庭で使わなくなった哺乳器の回収と資源リサイクルに取り組む活動を関係企業と協働で行っています。こうしたこれまでの活動で得た知見を活かし、育児用品業界全体での回収リサイクルスキーム構築を目的とした実証実験を川崎市で実施します。

(8) 参加企業及び各企業の役割

○全体幹事

- ・ピジョン株式会社（本社：東京都中央区）

○哺乳器ブランドオーナー・販売企業（協力企業）

- ・コンビ株式会社（本社：東京都台東区）
- ・ジェクス株式会社（本社：大阪府大阪市）
- ・株式会社ズーム・ティー（本社：東京都港区）
- ・株式会社ダッドウェイ（本社：神奈川県横浜市）
- ・雪印ビーンスターク株式会社（本社：東京都新宿区）

○アドバイザー、連携支援

- ・アマタ株式会社（本社：東京都千代田区）

○リサイクル関係

- ・株式会社パンテック（本社：滋賀県大津市）

○回収場所の提供、かわプラの取組としての全体調整、広報支援

- ・川崎市



2 哺乳器の回収・リサイクルフロー

市内7区役所で哺乳器を回収し、その後、ピジョン株式会社がメーカー・素材ごとに分別し、今後の取り組みに向けた回収量や回収品質等のデータを集計。回収されたパーツはリサイクル事業者を通じて、プラスチックはプランター、パレットなど、ガラスは路盤材などの原料の一部に生まれ変わります。



3 かわさきプラスチック循環プロジェクト

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000139506.html>



川崎市 HP

【問合せ先】

（かわプラに関すること）

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当：山田
電話 044-200-2557

【問合せ先】

（実証実験に関すること）

ピジョン株式会社ベビーケア事業本部：小柳
電話 03-3661-4188
メール press.pgn@pigeon.com